

（御幣）の可能性がある。

2024
7/18

西淀川歴史を語る会

（一九八〇年七月六日）

・お年幾つで……

七十一歳。

・いつからここにぞ。

昭和十二年ごろです。

お仕事は

・左官しました。

・私、公官志者の家族です。実際悪いのは私の家内さん

ですけれども、その代理でお話しに参加したので、谷川 エエエ

と申します。私は貞成と申します。六十四歳。あ、六十

三歳とまだ……

いつごろからお住みですか。

私は大阪には長いんですけれども、家内が来たのは昭和三十
年ごろかと思っています。

谷川さん自身はここにいつから……

昭和二十七年ごろからかと思っています。

昭和二十七年ごろの御幣島のことと、また後ほどお聞かせします。

もういまとはほとんど変わりがありません。ただ、オホッカ 鉄工所とか
私とこの周囲の所に若干変わっただけですか。高速道
路とか。

さんは昭和九年に竹島にお越しになって、一年半ほどたっ
て、いまは御幣島なんですか。お越しになったころのこの近辺の情
景を思い出していただけたらうお話ししていただけませんか。

その当時私が住んでいたのは

田淵電機という会社があるんですが、その真前におたんです
よ。現在 スナガワ 酒店になつてますがね。そこにおた時点で

海川 の堤防見ええましたし、香菱小学校のいまの鉄骨脚じ
やなしに古い木造の校舎もよく見ええましたよ。会社に
おりましたけれども、昼休みなんかには、晩のおかず釣ってくる
わいうと、これを真つすぐ行くと——堤防ありますね。と

ただけですわ。ほかは皆、田んぼです。

。その当時、この警署下かたんどす。

田んぼは多いんですけど、道路はどうだったですか。道路は
チヤクとびキレましたわ。

。は、キリした道路はわからんわ。あのころにはもう……。

。この本通りだけと違いますが。

。本通りというのほ、いまの警署の前。これ一本向けです
わ。

。この道路(ほかの道路を指して)下んかほとんど下かたよう
な状態ですわ。

。そうそう、そんなもんないですわ。

(地図をかく)

工場みたいなものは全然なし？

ほとんど下かたですわ。ただ、私が勤めた工場が……

その年代が違うから。何年ごろ。

。私は九年。

。私は……大分違うからわ。

トライ (地図をかきながら) ニニニニ ニニニニ商會 いう会社が一ツあって、

。歌島のニニニニ マルキヤカサマニ ニニニのゼーノありましん。 ニニニ 商會

いう会社が……

。いま、田淵電機ですな。

。田淵電機ですわな。ほんでニニニ ハマダ と、 ニニニ 商會の前

に スナヤク いう酒屋がありましたわ。

手井さんかというところは何年ごろのこと。

私は大正五年生まれ。さやから、私が子供のときから覚え
えこのうは、この国道ができたると聞かからの話。ここに御幣の
集落がたまたま、こたけですわ。私とこが、学校へ行く一
番はあれにありまして。この御幣島の村の、こんな建
つと別に三十六軒いうとキナから飛つてますねん。ここの道が
いらつちに、いまの、の米屋さん、あこ一軒だけありまし
こと。はんでこがもと御幣島いうことで三十六軒ほど
かたまたま、こました。道のこつち側には一つも家なし。こつち
の横の小川の道を通つて、香葉小学校へこつちして行きます
すねんか。こがが神崎川の堤防ですやろ。さやから、木の
中を細い道がまう、こつちの横を通つて……こつちが、取後
の家。こつちのこが高台で、大さなクスノキがありまし

たから、登んだ日は、こつちから大阪城が見えますねん。
「でも聞こえますねん。」
ときを知らせてあげよう。

・さうさう、十二時にや。
テライ、とやで、この、は完全にあなたんやなしに、私らがすあま
りのとキナに、こつち、をまここつた山崩れかけた道です。
の周囲が全部畑いっすけでや。

水は井戸で。
さうです。でも、私らが十二、三のとキナ、小学校高学年
のとキナにはもう水と道が――

水道ができたんですわ。
うん、水道はかなり早い。
大正の終わりが昭和の初めにや。

十何年ぐらいにや。

御幣島の集落の人はいまも皆さんお住まいな人ですが。

大体。

川と移動しないで。

ええ。大体や。

同じところに。

ええ、同じ家に……昔の家はバラツバラツと大きい家が
あつたけですからね。

御幣は何村ですか。

言は西成郡にいましてんや。大阪市西成郡字御幣。

そのもう一つ前の村が町の名。

大阪府西成郡歌島村字……

その香箆小学校というのは、歌島の村の者が全部来たんですが。

。いん、香箆小学校は、ここに加島という町がありますや。こ
うからも竹島も、そやから大野川の向こうの野里から
も全部香箆に来ました。大正の十年ぐらいでずかぬ、
いや、もっと後やな、十五年ぐらいかな、加島にも分校がで
きました。野里も分校ができました、ここは御幣島と竹
島だけの生徒が行くようになりましたけども。そやから、
御幣島はこの前百年祭をしましたけれども、加島とか
野里はまだまだ新しい学校です。

。百年史記念いう本やたいたもの、できませんか。

。いや、何で香箆いうん。

。それは、あつかい。(笑)

。道路がでまると工場や住宅が建つていくのと、おそろい早かった
でしょうが。

二為の方が早い。

いまのような道路に区画整理するのはいつごろか、この記憶ないでしょうか。

僕、昭和十七年から軍隊にいましたのよね。そのときはまだ道路なんかは、ミリメートルまでなめたよね。

道路にはトラックとかりマカー、いろいろ走ってたと思うんですけど。

トラックなんかほとんどなかったですね。とにかく昭和十七年に軍隊に入ったときに、いまいろいろ普通免許を持つてた人は、香葉小学校の人たちで二人くらいしかおらんかったと思えますよね。そのころには皆馬車やた。馬に引かして、馬力。それが主な交通機関でしたや。自動車とこの頃は、やめたにや。

・昭和十九年十二月二十五日に全員召集解除になったんですわ。二十五日に、^{（あつせん）}の記事を二十五銭で買うて貰ったんですわ。としたら、いまから名前呼び者は――

^{（せん）} 借入と ^{（せん）} とこののと。聞いてみたところ

免許証がたんです。マヤヤヤというのは、いまどいっつ中河内ですかね、^{（せん）} いうと二におつたんですか、千九百何人おる中で、あのとき時ニ多しかおらんかった。で、残された、転属 転属で――

・あのころにはどこでも馬力が馬りつて集団で養うつとつて、そこへ馬車を置いていって、大阪市中やと歩いたもんなんです。もう自動車なんぞめったに。

戦争で、ここは空襲はどうなつたんですか。

・空襲は、竹島でも二、三カ所落ちたところはあります

けいともや。

・三襲で思ひ出したんは、僕の家が焼けた。(世田
谷しなせう) ニニセ僕の家でやね。ニニ、三軒あたんが二軒
焼きました。その後に、ニノ角、こに、いま+ヤ
かふるんですが、ニニノ僕が変わった人ですわ。これ
も焼きました。

こらうたら、あちこちホッホツと燃えたんですな。

このとき、僕は軍隊にありましたんでね、軍隊から信
こきたらもう燃へた。

・私も戦争中はミンがボールで。ですから、爆弾の落ち
た時は……。

三襲はま井さんが覚まこはる。

御島はもとからの集落はありあいに助かりました。う

ちから西側の方に関西スポンデルの家さんがかなり大
まい建物があつたんですが、あつと焼きましたね。

・関西スポンデルちかうのは、神崎川のとこへありまし
たな。

・そうじゃなしに、小学校へ行くまでですわ。

・いやいや、あれが小学校のこ、ちへ宿せえした人ですわ。
そや、こ存じびつか。

・そう、おてこやね。

・おてこや神崎川のとこへあつて、あの上がすつと松
林びね。

・竹島へ行く道がなんぼんやなしに、学校からぐーとか
ーブして、通って竹島へ入るの、知ってはいります
か。この道じゃなしに。

・神崎川のあの道だけでしょう。あれ、両方は田んぼや、
たからね。あれを赤と行って、ドブ川を渡って……
・神崎川の堤防の下は下と、と松林だったのですよ。

(地図で説明します)

水害の戦後の被害はなんでしょうか。

・水害(どい)のはおれが行ったからありませうとしたね。

・一回だけある。下が切れた……。

今年のことですか。

・最後の台風やからね。

第二壱戸。

・そのとき、御幣は「かみんごね。

・二十五年ですか。

ジエーン台風やな。

・水は赤とありましたな。

・あれは堤防が切れて直ぐんさかい、潮が来たから水が出
て、潮が引いたら……それの繰り返し。

下体二十五年のことですか。

・二十五年の九月のあたりくらい。

床下浸水？

・さうさう。

・この付近は床上浸水ですな。

・床上二十センチか三十センチくらいですな。

・一週間くらい。

大野川が切れたの。

・神崎川の下が切れた人ですわ。
・神崎川から淀川の方へ出る枝 がありますわね。とこ
の二場へ入るとこが切れた人やからね。
不夜田川の入口が、西島か。

百川銅葉が淀川から入るように単独で
とこまじしたやろ。そやが切れたわけやわん。

又の川 淀川へ出る川がまた入るや。その川から自分と
この工場へ――

・船着場とこしつとこふとこだっしやろ。

うん、そやが切れた。とやぞ、そやが切らんとあいの、潮が
来たら下水からとんととん上へくる。潮が引いたら、また
引くと引くと、そんなんが一週間も続いた。

じゃ、とつかり、はなしじゃなく、潮の満ち干によつて

魚が来たり来んかったり、そんなんやな。

・ニヤと所かどど一月間天井まで登らしたような話。聞いてきたん
どや。あれどどでした。

・中島です。

・場所がニヤになった話。

・水害のときは全部つかりましたの。つかってない地域とつかっ
てる地域とありますわ。

高台のとこだけつかってない。

どの辺がつかったんですか。

ほとんどこがつかったんじやないんではなうか。

どの辺が高いんかな。

とんをなうに高のとこを削りました。

個人で。

個人で言うところとは、つかってない。大体全部つかって
きます。

国道は自動車が行き来しなくなるまでつかったから、通
行どめになったからね。

床下。床下とマリンなら、大体どんなもんですか。

大体古い御幣の家では床下。

古い御幣は相当高いです。

御幣は床下とマリンです。

(地図を指して) 僕とこの家は、当時女の赤い印のもう一つ上
におった人ですが、そこでタンスの引き出しが三段つか
りました。

人によつては床のとこから、人によつては二階に落ちたんですよ

んぐらりの……

ええ、もう二階に住んでましたけどね。

大体いまの国道が高サのなになにになつてとるでしょう。あ
れからカーブと潮が流れ込んできるとかものすごくかっ
たんです。国道からこっち、私と二なんかは床上三十
センチくらい一週間以上つかってました。引きもせんし、ど
うにもならん。

いまと違いますから、便所なんかえらいことですよ。

いまやったら補償問題やいやい言うけど、その当時ニ
百円でした。一週間つかってたら壁、全部落ちますもん
ね。

いまは二の辺町工場が結構多いとこですけど、終戦で復興し
てこつたやつ、そのときはどんななぐらひでした。

昭和二十年の八月十五に終戦のあれが。たゞよう。
それからすぐ上等以上は残留になつたんですや。二十
日ごろまでにはほとんども帰りましたが、僕ら二百何人は残さ
れたんです。僕にしたら家内もあるし子供も二人あるし、逃
げないかいうて九人が逃げたんです。ちやうど静岡に本部
隊がおりましたんで静岡の駅におりましたら、列車が来て
る業も満員で乗れませぬん。としたら隊の偉い人が
来て、おまゝの何とんじや。言つてから、あしから市民や。――
九人がたゑろしたとこへ怒つてきたよ
う。プラットホームに木がたつたから、みんなどくどくとし
もつて、ぐるり九人が取らされて逃げんようにした。汽車が
来るのを待つとこ、カースと飛び乗つて逃げたんです。飲
まず食わずでちやうど三日かかりましたね。

帰つてきたら、とないでした。

帰つてきたときには、もうろく家はありませぬし、家内は自
分の実家へ疎開したんです。

いまわたしの工場ができたのは、戦後ですかや。

いや、第一は戦争中に建ちましたね。

僕、個人的には、^{ハンカチ}さんの軍隊の話、ものすごくおもしろかった。ポ
ストルを池へはそしましたとか、操校を木にくったとか、もうちやう
ど聞かしてほしいとこあるんですけど、だんだん工場のできてきたた
話です。

大体いまの道路ができたのは昭和十年ごろと違いますが、
十年いうたら幹線できてきたね、商店街いうのがね。
本通りというやつ？ 本通りは昭和十年ごろできましたか？

十年ごろにはできてましたで。補装されてませぬけどね。

工場知事と人建、こまこだんだん入るこまこだんだんの話を聞かして
ほしいですね。

僕が、こまこだんだん製鉄所が昭和九年に建ったんですね。
(北田まきまがら) (ニノコ)にせどり電機が、あ、こ、ハ、マ、カ、印刷

あ、こ、昭和九年ころには工場というたらさかむらじでし
たが、十二、三年ころからぼつぼつ建ちかけた。

こまこだんだん工場は、こまこだんだん。

大塚とのときは、大塚工場は、あ、こ、だんだん、鉄工と

あ、こ、だんだん工場は、あ、こ、だんだん。

鉄工ですね。

鉄二所。

旋盤。

こまこだんだん、旋盤。軍需品のこまこだんだん会社ですね。ミヤハシラジヨウカイ

オオツカ

工作所、あ、こ、だんだん、と大塚のものが建ったのが、もう
ちよつと後やったんですね。

田中電気ができたのは何年ごろでしたか。

田中電気は、も、と、遅い。

二十五年か、三十年ころいですがね。

二十八年ですね。

それまでには煙はなかったです。田中電気ができたからもの

すじい。田中電気が仕事やりかけたら、御幣島は真ッ

黒い。

田中電気が、こまこだんだんの工場に、あ、こ、だんだん。

足尾ホルル、あ、こ、だんだん、あ、こ、だんだん。

それ、こまこだんだん、あ、こ、だんだん。

それ、あ、こ、だんだん、あ、こ、だんだん、あ、こ、だんだん。

戦後。

製鋼所です。くわ鉄を溶かしてね、それをまた——
最初が山手(山手)の電気工場やった。向こうはね、どっから入
るんや。煙も出す中工場をこたえたんや。それから、ど
こや。

公園が昔の田中電気。

これだ、こころで見たんや。

昭和二十六年か七年。

そのころからだんたん汚くなった。

田中電気はもろオシロウ煙も出すでしょう。下請会社の
ほかの工場もそこへ集まってきたや。だから、一遍に
洗濯物干せらんや入やからね。

風の晩でも御幣じゃう煙だらけや。

私とこころから見たら、もう御幣じゃう真っ黒けです。

真、黒けいっうのは、粉塵をばらまくや。

重油で溶かすのか。

それは煙気やつたんですけど、油のついた鉄くわを入れ
るでしょう。

すすか出るわけですか。

すすとか煙とか、もろすこいんです。山が爆発したよ
うな煙がバースと流れます。

あれ、近所には最早溶かすことたんと煙にましますか。

月千円。そのとまんの千円でせ。

一軒に。

一軒に千円。

結局築業して二年目ぐらいからですね。

そのころ、そのころの共産党の「ハジ」先生なんか加うしえ頭には、ここの行かかったからいね。

僕も、近所の人か押しかけてくるので困りましたわ。

そのころ、押しかけてもしまし、うかうかいな。あんなに煙出したら。

そのころが、煙出したら、あんなにいいんです。夜勤でしょう。会社の

貸いさん、全部帰ししもうて私一人でしょう。聲迫され

るの、さういふ時。ジャックナイフ持てまこと、とないすんのや、

リッポデーガルの、さうにたまたまつけたりすると……。そのかわり

会社として金さき五十万ぐらい出してしよ、たんどすよ。一人

月に五千円から、距離に依って三千円、二千円、千円とい

うような状態で、相当金は出しとったんです。

それだけ金出したら、長もちせえやな。

月に五十万。

さう、あの時分、月に五十万以上出しとった。

そのころ、もうかいた会社なんやね。

そのころ、もうかかります。スクラップはトシ三万円ぐらいで、

農家は七万四千円から、売るんですから。

四年ぐらいから金を包んだりする態勢になつたんですが、

二十七年ぐらい。

二十七年にまで、二十七年のころから、言わゆるようになったんですが、

そのころとすなは、そのころは、そのころ。

お金も多うた人は、そのころの証では二十六、七年廿たいでしたな。

田中重機そのものは、二十五年ぐらいですけれども、製鋼工場

と建てたのは、二十八年のころやったか。

い、そのころ、製業が出たのは、そのころからでしょう。

いや、すべりやなかつたですよ。二十九年が三十年ごろから。田中電機そのものは戦争中からあったんですけど。その時は電気は、かりやつたら、その時は誰も言やへん。

最初はモーターの巻まかせやつとった。

戦争中は巻まかせや、こもうけた。

田中電機そのものは戦前からあったわけ。

そうそう。

製鋼所ができたのが……

昭和二十八年ごろからですよ。

二十八年ごろにモーターから製鋼所になったわけですよ。

操業したのが二十八年の十二月ごろやったと思いますや。

それから一年もたたんうちにワアワア言やれきました。

住民が押しかけこまよったのは、二年ぐらいしてから。
三十年。

ええ。

公園の二つち側に入ると、たんなんか、たまにしたらすぐ言うことはたぬ。そやけど最初のうちには、やっぱり長いものには巻かぬと、いう気持ちやった。そやがひどうなってくるやがいに、もうしんぼうでまんようになそ。昼でも表あけとかめへんのやもんや。音がひどかつたですからや。

黒い煙ですよ。

白い煙ですよな。酸素溶解ですから。白い煙が一面に

ち込めよった

田中電機という製鋼所でしょう。鉄鉄はどっから来たんですよ。

鉄鉄は業者からスクラップを四買うとったんですよ。

たとえばどっか親会社たりなのがあるという事はなかつたわけ。
スクラップを各所から集めて、それを炉で溶かして、堤防
のところに、今度そのスクラップを引寄せ伸ばして、家を建て
る鉄筋、ああいうものも、二十三年とった。

あの時代はくわ鉄のもやまごう盛んな時代で
大体朝鮮戦争のころが全盛さやわ。

くわ鉄取り締まり条例が出るくらいでね、三十三年の在議会で
さういう時代ですから、くわ鉄の横行時代でしょう。軟
鉄板は跡にあちこち 種々な 大阪の町が鉄だらけな人ですよ。
工場から何やらつぶれた跡に鉄がいっぱいあるわけです。特に大
阪砲兵二廠、鉄だらけ。たけど国有財産ということで 戦争 になっ
たらけせよや。

田中電機の煙は色は白という話だけでも、臭いなんかはどう

なごまが。

やはりは直接受けたことないけども、竹島から見たら、せえ
ほいさうやうに真黒けの火山が噴火したようなやつこ
うで車いって煙が回るといふから、あの煙がまともにい
たら、相当臭いからし、目の痛々も覚えるやろと思ひ
ますや。

しかし、倒産する五年ぐらい前から集塵装置つけま
したから、さう出とらんはずです。

谷川さんは昭和二十七年にその会社に入社した。

ええ、田中電気に二十九年に。また 基礎 する時代に。取
初め歌山製鉄におったんですけど、それから引張らるや

田中電気に来た。

田中電気がどっかの会社の下請やったという事はないんですが。

・下請人かやっています。

・もともとはヤッぱり下請じゃなっていますか。いまの公園のわ
きで巻き、をヤッぱりころ。

・あの時分はよく知りませへ。

・あれは安川、テイヤの下請。

洗濯物とか植木とか、そういうものにも被害があったら。

・そろそろ被害はありますわ。

・植木まではあれやけど、洗濯物は皆入れこましたな。

・私はしかし、田中電気の前の方におるんですけど、その時

分は洗濯物がどうのころのというのと、これは絶対なかつたです。

私は干しとったですから。

・ぬきの人は洗濯物の被害はなかつたんです。相当離れた

ところが被害あつたんです。

大体どのぐらいの範囲か……。

僕とこら、いま住んでる家の辺では干し物でキレあつたです。

黒くなっちゃなの。

ええ。

いま田中電気がぱつぱり言ってますけど、田中電気以外に……。

ありました。オウゴン、
銹鋼、大同製鋼。

(テープ転換)

そういうところの煙がいつごろから目立つようになりましたか。

二十五年ころですかね。とにかく田中電気がやる前から

です。田中電気がその仕事にかかた途端に工場がふえ

たんです。

工場がふえたんは戦争が終わりになるころですか。

いや、終わりになるころじゃなしに、僕が軍隊に召集くら

うた時分に相当工事やりましたからね。で、半年間外出
もろえなんど、半年目に外出したときには相当できいまし
たね。
何年ですか。

十八年六月に召集よったんです。そのとき、もう相当基
礎工事やりましたしね。十八年十二月に外泊もろうて帰っ
てきたときはほとんど完成してましたから。
十八年ごろにはできたためけやね。

このとき、だから、戦争中からやりましたけですや。
どんな工場ができたかといましたですが。
やっぱり軍需工場ですや。

鉄工所。
このとき。

小さな規模の。

まあ、小さい規模ですや。
大体戦争が始まる前から小さな工場も大きな工場も
ようけでした。仕事も忙しくなったから。それまではさほど
進んでいなかったんですけとね。

鉄工所をつくったのは、この土地の人ですが、よそから来たんですか。
よそですか。
私はこない聞いています。こっちへ来た会社は、福島田の方に
おようさんあつたのが、あにあられんようになったんで、めん
な西に来たわけです。

それは戦前の話。
戦争中の話。

福島からこっちへ移って来たわけ。

あの辺にたくさんあった会社がこっちへ来たわけですね。
町の工場がこっちへ皆移ってきたわけ。
拡張で移った人ですか。

向こうも広げるいうことも土地が足りてしまう。仕事が増える
なるもんだから、工場を拡張すると同時にこっちへ移転し
てきたわけなんです。ですから、町の公費が皆こっちへ……
いざいざ、こるいうたり、どういうところ。

大塚、渡田、田口……
やっぱりおとうさんおきかせ。これから向こう行ったらほと
んど会社やもん。

西へ向かって淀川越えてこっちへ来た。

そうですね。淀川の向こうが開けましたやろ。ほんで居づら
いわけやね。こっちは海や田んぼばかりやったから、こっち

へ来たわけですね。しばらくの間は二人なにあいましたね。
御幣島は、工業地帯に市の方から決めたから、皆こっちへ
回ってきたんやろ。

一帯に。
その時々にいまの西成大橋と第二国道ができて、とれど
こにガウ人と開けて工場地帯になつてもた。とれまどはあの
橋がたがた橋で、ここの国道はなかつた。

姫島の方へ……渡し船で……
そうそう、あそこが本道路やな。
その姫島の旧街道というのしかなかつた。

あれしかなかつたんやからね。昭和のかわり時々に西成大
橋ができて第二国道ができて、チンチン電車が走って、
ほんでここに工場地帯に決まったからね。とれまどは田んぼや

畑ばかりやな。

・国道ができたから、今までは入替転して来たんです。
・国道ができて電車が来たときには、いまの公園になつて
る歌島橋のところで、岸にちゃんと船があつて、ここの
竹島の方まで見えたんやから。田んぼばかりやもん。
・十三の大橋でも二間ぐらいのたがた橋で、車は通つ
たり、こうして壊れんやん。

・この道路ができたために土地がどんどん開けたわけ。
・国道というのはこの国道のことですわ。

・第二国道。

・阪神国道というやつですわ。
・道路ができて前は歩いて通る人はいりけれども、そうじゃなく
て大きな荷物を積つのはなかなかに危かつたわけですよ。

・みんなのは荷車でね、馬力で皆運びようた。馬力が
通ると橋の方が揺れよつた。みんな橋やった。とこ
ろが、道路がよくなりました。みんな工場が——
・いま淀川大橋ができてますやな。あれのちよつと下手に
長いと西成大橋の橋げただけありましたやな。
・それ、大和田の方へ通つて

・阪神国道は大正十五年が昭和に入つてからですよ。

・その時分に通つたのは阪神電車だけや。ほかになつ
たら何にもなかつた。阪神電車と東海道線しかなかつ
た。

・塚本駅はいつごろから使われるようになったですか。

・あれは大正になるや。あれも昭和のあたりが大正の終
わりごろやな。

・国道二号線とソウワのは大体大正十五年ですね。

・そのまわりはまじめな幅だったの。

・幅は広かったですよ。

・国道電車、走るわけやろ。

・その頃の国道は当時もう東洋一の国道……。

・いまの国道もできたときの国道も幅は一緒ですね。こ

んなただ広い道路でござい、とないすんねん言うところ

から、草の中へ電車が通った。

・その頃の電車の……とか条件があるわけですね。ちゃんと阪

神国道でございたから、お寺からいっばいこちへ来るわけ

です。

・そのころのことや。

・ところで、ま井さんにお聞きしたらいいんですけど、結局田ん

ぼや畑を売ったわけですね。みんな百姓さんたちはどう
でした。もう売るのを待ってわけですか。それとも何とか抵抗
しようと思いついたんですか。

・あんまり抵抗なかったように思うね。

・結局隣から隣に工場ができてきたら、畑行くこともで

きへんし、そうすると工場の方は……結局とれに押

さねてしもうたんと違いましたか。

結局この土地売ってくねんかという話になったり、もうすぐに交

渉にたれて……

・うん、そういう人もあったし、先祖からある土地やから

償いということも売らんという人もあったやろしね。

・償いする場合がたいてい多いでせ。いまでも。

・としたら、この三十六軒は皆さん地主で、金を持ってるわけですね。

やりあーになる。

御平島の本島の集落で一番中心になつておられた方という
×はホウヤカリですか。

・ヤッぱり日音 ヒヨウオン へ、
えになつてゐるからね。 へ、ありますからね。 いまは息子さん

・いまから四十七、八年、私か来たころは日音さんとか、あ
の辺に二、三軒うちこちよこつとあつただけですわ。あと
皆田んぼ。

日音さんと二人行つたとき、イセキテニキ のところはまだ何本かの
いちじく残つてんね。

・イセキ さんのうまが焼けたから、おじいさんがつくつてはつて
んや。焼けてから、焼け跡へいちじくつくりはつてん。
・いま提防のはたが取つと公園になつてまっしやる。あつこ

が全部いちじく畑やつてん。

・どっからか引キ揚げてきた人があつて、こぼつてましたわ。
あれ、終戦後。

・いまの道路になつてゐるはたが取つとドブ川があつて、ドブ
川の向こう側全部いちじく畑、提防まで。

あの一角、さあでいま残つてゐるわけ。

・あなたはいつごろお越しになつた……

・私は三十九年。

・先生往んどはたのは御幣島ですか。

・いや、私の往んどたのは野里の方ですわ。私か来たときは往
宅は、かりやなです。ふる屋が一軒あります……。

・このころから比べると、いまはものすごく空気が汚れてますかね。

・いまの方が大分空がきれいな感じしますね。

・三十九年いうたら、僕は三十六年からあつたから、僕の方が
かろいところ。

・その間がハツと抜けてるんで、昔といまとを端的に比較でき
る立場にあるわけですね。

・三十九年からこつちやたら、ほとんどの一線ですね。

・あんまり変わってしまへん。

・さんの場合、こつちへお越しになられたんはたしか昭和十二年
でしたね。ゴム工場……

・ゴム工場はあつちやんが佃の方に通うていましたけど。
神戸から移られた。神戸でやっぱりゴム工場やつられたんで
すか。

・そうですね。

何でまたこつちへ……

私の親やきょうだいがないにあってから、子供がちよつと
病氣したりしたもんやからな。

・別に工場の都合とか……

・この辺の町工場というのはほとんどが機械、鉄工、そんな感じ
ですね。

・まあまあそんなもんでしょうね。

・たとえばもうちよつと西の方に行きますと、大和田あたりだと
硫酸工場とか皮革工業、こつちいったもんがあるわけですね。
どこの辺はどちかというとかネヘンがほとんどですね。

・ええ。鉄工が多いですね。

・いま地図も見てこそそんな感じだし、当時から大体そんなもん
ですね。

・ニニは大抵電気と機械が主でしょうな。
 ・メッキ工場もかなりある人と違いますが。
 ・うん、メッキ工場もかなりあります。
 ・小さい町工場みたいなメッキ工場大分ありますよ。
 ・あれがわりありに悪いもん流したりしまんねんで。
 ・とらまあ ―― とやるとると、どうしてもメッキまで
 やってしまうからや、そういうふうなつけ足りのメッキ
 工場は大分あるんじゃないかな。
 ・公害になる空気は、この田中もやけども、大抵神崎
 川の下から来た空気が悪かったと思う。
 尾崎の方ってことかな。
 ・大野の方の古川鋼業のあっちの方から、
 ・神崎橋の上から眺めたらおもしろい煙突が並って

ますね。あの空気が如風に乗って上がったときは……
 私、十年ほど前売しころ毎朝自転車で神崎橋通り
 ましたときに、神崎橋の上へ行くとときには必ず気が
 悪うなため。そやから向ミウから来た空気は確かに
 悪いと思います。あの川を伝うてきた空気は。だから、
 川が悪い空気ターフの道になつて、障害物がないから
 あのスピードと通ってくるわけ。
 ・あの川をわつと下つていくと、川の両脇にいろんな会社
 があります。電気の会社の工場もあるし、ものすごいゴミ
 のある工場があるんですわ。
 ・黄色い煙が出る会社なんかもありましたやろ。
 それを風向きとしたら、川下から来る風？
 大体ね。その風が多いんですわん。

下からの風が、

うん。

大体淀川気流に乗って、とういうような悪い工場から排出するとこののがスガ流れてきまんねんな。

おばちゃんはその神崎大橋を通ったのは一日のうち何時ごろ。

朝の八時ごろに行くと、帰りかやっぱり十時ごろになり
ますやる。その間神崎川通ったときにはスガが悪いよう
に……。一回ぐらゝ一服せな行かれへん。

とで。そのころはもうハム書にかかってた。

その商売してる中ごろからやっぱり悪くなってきましたね。
川下の方から来る空気が多いというのは、朝の方ですか。

そう。私ね、と登ってこくとキにね。

朝方、北東の微風が吹くんですよ。で、八時ごろから海風に変
わるとすね。大体氣象的には。

そやから田中電気の空気が、空気がいますけど、私は
家がそいなんぞ、東風がちょっとこっちに流れる関係で
あんまり感じたことない。

田中電気。

うん。そやから、こっちの方の空気が悪い。東から
風が吹くというよりは少ない。お天気の悪いときぐらゝしか
吹かん。

川下から来る空気が悪いなと思うようになった人は、イン
ころびしような。

三十六年にやめました。その十年前からやめたからね、や
ほり三十年くらいね。

昭和三十年ぐらい。

三十年と別後から、とつても空気が悪いなあと思うこと。
三十六年ごろまでその仕事、なすった。

三十六年までです。

三十五、六年ごろはよう覚えこおられますね。よっぽど悪い
なつた。

ええ。その時分がやっぱり一番悪かつたと違いますがや
うか。

三十年から三十五、六年比べおつて、空気はだんだん悪うなつ
てきたようですか。大体同じなのか。

そうですねア、だんだん……

病氣になられたのはいつごろです。

なつたいつて、その……咳が出ましたんが、その都度病院

へ行つて、二、三回お薬もつうては仕事しよしてましたか
らね。いつなつたとやなしたに、だんだんに。

最初に発作が起つたのは。

それはやっぱり……四十年過ぎからですか。

尚書をやめたから。

ええ、尚書をやめたから。四十五年にはもうしんぼうで
かんぐらになつてましたからね。四十年ぐらいから、だん
だんひどうなつてきましたね。

尚書をやめたのは、体の調子でやめたわけではないの。

違います。

橋を通つたら気分が悪くなるというのは、ほかの方もあつて
おつたか。

ほかの人はどうか知りませんが、私はそれが身にこ

たえまじたね。

おうちの方におっちゃんたりしたことはあるんですが。

神崎川の上がっつらいつらいつらいつも言うてましたな。
いま先生の方で言うてはるのは、うちもそうやというこど、ほか
の人とそんなこと話類にならんかたかとうかというこど、ほか
すけどね。神崎川の上を過るときはしんどいなアというもんど
ほかの人、言うてへんかった。

そら神崎のこ過るときは悪い煙が来るなめい
うな話がありますね。

この方井たいに朝一定の時刻に過るいう人は、そんなにぬ……。

私は毎日過るからな。

西渡に住んで、毎朝神崎川の橋を渡って向こう方の工場に通
つてる人なんかいなかつたかな。

私は、知りまへん。

逆や。佃の一丁目からこっち来る人はおそも、こっちから佃こ
うへ行くの、少ない。だから、佃一丁目あたりのところごその話す
ると出てくるかもしれない。

結局御幣島よりももっと下手の方が、空気が悪いにわけ
やね。御幣島、二つから三つは、いづこもまだすうと
ましな方ですやろ。

神崎川を渡ると煙が見えますの。
ええ、神崎橋の上からな。煙突が……もありませんから
ね。赤いような、黄色いような煙が出てますやろ。あれ
悪いですよ。

あれはメッキ工場の煙やもんや。私と二は竹島やけど
竹島にも尾崎方面から……の風の方やっぱし悪いけど

すな。そめと雄島方面から来る風の方はね。

小川さんは、たしか昭和三十五年にこちらへおいでになったようなお話でしたな。

そうですね。たけと僕の場合、何せあつち移動してるといいます。いまま井さんが四十年ころ言うことたけと、ちようど千舟二丁目、三丁目、あの辺にいたと……。煙のにおいとか、国道から向こうがどうにおうたんだとすけとね。僕がいたところは煙の色から何から、すこかたですな。

千舟三丁目。国道を越えたところですから。

三十年ころ前は……にいはたんですが。

五十一年にこちらへ来ましたから、その所に四十年ころから向こうにいた。その所が五年前雄島 ハムケオリ。

出へたにおいと色かした。

いや、臭かたな。特に雨が降ったときなんか非常中になおいやな。鼻つくような、夜中でも目かさめるぐらいな状態やった。

とりや硫黄やな。

ものすこいにおいやな。

とら、私が認定になったときは四十九年。その間どれだけ苦しんだか。咳を出しながら工場に通って……。認定受けたとき、公害患者になりたくないし、受けたい自分で漢方薬やら何やら飲んでね。とら、ものすこい。ミニウのものじゃなかつた。ちようど千船橋、いまいう神崎橋のちよつと下。

千船橋なんかよう通ること、ありました。

ああ、もうしよつちやうやね。
どうすと、いま寺井さんが言うのはさうな、同じようなことが
起るは不やけども。

いや、臭いのなんのって、ものすごいからな。僕は四十年
から千舟にいて、いまの千舟の駅前にマンションがびびん
こそ、二年前くらいいたからな。だから、川のそばに
いたというのとやから。臭いにおいやう何やうい。
橋の上が特に臭いとか、さういうことはあるたですか。

臭くもすい。
真ッ黒。とれをその入ホンと入たらセツと死んでしまふ
うな。

皆カレイ釣つとったんですよ。私は竹島の神崎川のね
たですか。日曜にはようカレイ釣りに行きよつた。

リフゴろまで。

終戦後一年くらいやね。

終戦後二年くらいまでの間は堤防がこういうふうになって、
もう一フこうなってるから、水がスーッと引いたとき、この間に
カレイとか何かいっぱい残ってくるんやね。とれを捕って帰って
炊いたりなんかした。初めはさうやつたけど、終わりには
そんなものは余り食べなくなった。ものすごいあつたやろ。
向かいの神崎製紙が動かまして、途端にあかんように
なつた。あんなに流すのがものすごい。

だから、ほんとの一二年、ちやうどさうなつたときにね。
黒い煙とか赤い煙とか、さういった煙の色というのは黄色を
つたですか。

記憶がないな。大阪製鋼やと思うんだけど、おかん色

おたいたい...

大阪製鋼やたら最初は赤い煙です。
古川が黄色い煙やた。

平炉ですから、鉄石そのまま溶かすんですから、最初は赤い煙が出ます。で、徐々に白くなってきます。

大阪製鋼もどっかへ移転したんですや。

またある。合同製鉄って名前が変やた。

さうして赤と黄色とっていうの、違うからや。赤とっていうのは大阪製鋼の真つ茶色のようなやつがアツと来るやつと、黄色いやつが白の中に入っしてさやつ、あやほかなやん。

あやほまなんですか。

鉄間さん、徳之島というの、はものすじく空気がススこといふや。
さうですか。

さうちから昭和四十一年ごろ来たとき、の感想を言うてくれるかな。いまなり徳之島から来たん。こちらでちょっとお勤めしてはってこというんじゃなく。

さうです。しゃうとさんと一緒にや。

おんなごあひでした。

それいになつた。においはしつた。

四十一年になるとまた少しましになるケースもあるかな。

いさや。

私に来たときは、田中電気とか、あまいうとこは全知な
かったやね。

田中電気なんかはなくなつた。こ、ヤッほし空気が悪かたん
だよな。

さうやねえ。身内が見えこも、臭くこ、あどから直が来る

ぐらい気持ち悪いよね。よう我慢してる。って。私ら免疫
疫になってるんかしらんけど。

一番ようわかるのは、徳之島におたたら空が真っ青。こっちへ
来たら灰色やる。

青空というのは全然見えへんわね。

親類が来らねたというのには、遠くから来らねて、ここへ来るとのど
が痛がったということですか。

・神戸の方から千舟の駅までおりますでしょう。歩いてい
ちところすごくこいやから、神崎川を人が通つたらのどが
痛いいうのね。だけど、私ら往人びるから、免疫たっ
るかしらんけど。

・ここらに往人びる人は免疫になってるから余り――
――ここから来た人はすむわがる。

四十年の後半、五十年にかけてからちよ、ときれいになっ
て来た人と違ひがあるか。

・この二三年の間、工場が皆ここへ行ったんかしらんけど……
いま御幣島が一番悪いいうたら、この国道越えた、
いまの田淵電機のあるこっち方だけや。は、キャンと言った。
とこら辺、

(地図をかく)

・僕ら、いまそれで保健所と何回もやり合ってる最中や
けど、ものすごい。

平前さんは昭和三十一年ごろ来たというのには、一番汚いころで
すわな。そやまでここにはつたんでしたっけ。

広島県の尾道市。

尾道からここに来られて、こんなこと感じいらしました。

尾道市は商業都市ですから、空気が非常に……
こちらから空気の感じが全然違いますわね。

尾道からこっちに来られるまで、お孫さんなんかはこっちにいてはたんでしよう。

孫ができたので、こっちへ来たんです。

息子さんらしいとはたんですな。

そうです。

息子さんから何か聞いてませんでした。

何も聞いてないです。

・お話は一応出尽くしたようにも思いますが、いねえまたちから
んことがあたら個人的に森脇さんを通じてでもお話を伺いま

す。そういう意味で、これから先もよろしくお願いしたいと思
います。

・きょうは皆さん方、ちよっとしんどかたと思います。しゃべると
いうことは、うっぶん晴らしでもないけれども、僕らと交流す
るという意味もあるし、学者の先生方ともいろいろ協力して
もらわないかんし……。またこういう機会のほかの地域にも
ありますし、今度は何人数でやるのか、そういうことも考え
ますんで、そのときはまた一緒に協力してやりましょう。き
うはどうもご喜ぶことができました。